



授業学修内容	ガイダンス(概要紹介)		
授業外学修内容	シラバスを読んでくる。	時間数	0.5
2週目			
授業学修内容	日本の原始時代を資・史料から読み解く。 邪馬台国に関する資・史料を読み解きながら、当時の国際社会における列島社会の位置づけを理解する。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	1
3週目			
授業学修内容	飛鳥時代を史料から読み解く。 飛鳥時代の史料を読み解くことで、古代国家形成へのみちのりや、東アジア世界における日本の位置づけを理解する。同時に史料批判ということを学ぶ。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。日本史に関わる本を図書館で借りて読む。	時間数	1.5
4週目			
授業学修内容	奈良時代を史料から読み解く。 奈良時代の史料を読み解くことで、仏教がこの頃の日本に与えた影響を考える。東アジア世界や群馬という視点からも理解を試みる。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。日本史に関わる本を図書館で借りて読む。	時間数	1.5
5週目			
授業学修内容	平安時代を史料から読み解く。 平安時代の史料を読み解くことで、摂関時代とはどういう時代であったのかを考える。当時の社会的変化・文化的影響もふまえて理解する。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。日本史に関わる本を図書館で借りて読む。	時間数	1.5
6週目			
授業学修内容	院政時代を史料から読み解く。 院政時代の史料を読み解くことで、院政がどのように始まったのかを考える。中世の萌芽といわれる時代の社会的変化もふまえて理解する。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。日本史に関わる本を図書館で借りて読む。	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	鎌倉前期を史料から読み解く。 鎌倉前期の史料を読み解くことで、鎌倉時代のはじまり、武士政権の誕生とはどういうことであったのかを考える。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。「読書課題」を作成し、図書館に提出する。	時間数	1.5
8週目			
授業学修内容	中間まとめ 提出された全ての「読書課題」の紹介と「本のプレゼンをしよう」(希望者によるプレゼン)を実施する		
授業外学修内容	前半部分の復習をする。希望者はプレゼンを準備し、プレゼンをする。受講者はプレゼンに関するコメントペーパーを提出する。中間課題を作成する。	時間数	1.5
9週目			
授業学修内容	鎌倉後期を史料から読み解く。 鎌倉後期の史料を読み解くことで、蒙古襲来とはどういうことであったのか、東アジア世界という視点から考える。蒙古襲来が及ぼした社会的影響を理解する。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。中間課題を作成する	時間数	2
10週目			

授業学修内容	室町時代を史料から読み解く。 室町時代の史料を読み解くことで、日明貿易を中心に当該期の東アジア交流とそれを必要とした室町幕府の意義を考える。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。中間課題を作成し提出する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	戦国時代を史料から読み解く。 戦国時代の戦場に関する史料を読み解くことで、戦国の真実と戦国の乱世から近世社会形成へと向かう道筋を考える。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	江戸時代を農村史料から読み解く。 慶安の触書という史料を読み解きながら、その解釈が変化した過程をたどり、そこから見えてくる江戸時代の農村社会を考える。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	江戸時代を外交史料から読み解く。 江戸時代の外交史料を読み解くことによって、鎖国と言われてきた江戸時代の外交の実態を考え、世界の動向に日本を位置づける。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。期末課題あるいはテストの課題を作成する。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	江戸時代の社会を史料から読み解く。 生類憐みの令という史料を読み解くことによって、江戸幕府がどのように民衆統制政策を変化させていったのかということまで考える。		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして史料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。期末課題あるいはテストの課題を作成する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	講義のまとめ ―日本の前近代社会―  *以上の授業の順番・内容などは進度・理解度などにより変更になる場合がある。		
授業外学修内容	期末課題あるいはテストの課題を作成する。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		22.5	
その他に必要な自習時間		67.5	

Number	HIS-1-004-sn	Subject	Outline of Japanese History		
Name	野口 華世 (Noguchi Hanayo)	Year and semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	We will learn the history of Japan from the origin and ancient times to the early modern period (Edo Period).- Along with learning an outline of Japanese history, we will also learn how popular beliefs written in textbooks have been reread due to the development of research. We will also keep international history in mind.- We will also touch on the relationship between Japan's comprehensive history and Gunma Prefecture.- The course is linked to the course in the second semester "History of Modern Japan" (from the Meiji Period to the early Showa Period)(Noguchi).?				